

電池の保護,消耗時の対策, 電子機器の保護まで考慮した

降圧/昇圧コンバータ回路 の作り方

成田 藤昭 Fujiaki Narita



(1) 電池の特性と電池用電源回路に欠かせない保護回路





各種電池の特性



ニカド電池とニッケル水素電池

ニカド、ニッケル水素電池の放電特性を図1-1に 示します.特徴は、消費時間に対して端子電圧が 1.2 V付近で比較的安定していますが、終了時になる と短時間のうちに急激に電圧が降下して終了している ことです. 従って、終了時には素早く対応しなければ なりません. その反面, 電圧変化が少ないので, 効率 良くDC-DCコンバータを利用できます.

電池1セルの特性として、標準的な数値を以下に示 します.

充電直後の電圧 1.4 V 平均電圧 1.2 V

終了(終止)電圧 1.1 V (1.05 V 专可)

リチウム・イオン雷池

リチウム・イオン電池の放電特性を図1-2に示し ます、特徴は、消費時間に対してほぼ直線的に電圧が 降下し、最後はやや急に電圧が降下していることです. このため、端子電圧を測定することによって、比較

的容易に残量が判断できます。電池1セルの特性とし て,標準的な数値を以下に示します.

充電直後の最大電圧 平均電圧 3.8 V 終了(終止)電圧 3.0 V



欠かせない 電池と電子機器の保護回路



電池を使用する場合には,必ず保護回路を必要とし ます. 電池は規定電圧以下に下がって使用してはいけ

ニッケル系統では1セル当たり1.05 V, リチウム・ イオンでは3Vと考えてください、従って、それ以下 になったときに電池の負荷を切る回路が必要になって きます.

また、 電源につながれた電子回路は電池が終了した ときに急に電源が切られると不具合を生じます. 電池 が無くなったときに表示で警告しても、それを見て対 処してもらえるとは限らないので、保護同路は必要で す. さらに、許容以上の電流を流すことも禁止されて います. 図1-3に電池用電源回路の基本ブロック・ ダイアグラムを示します.

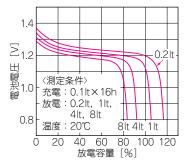
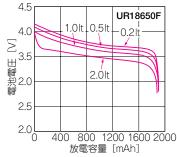


図1-1 ニカド,ニッケル水素電池の 放電特性(lt:電池の公称容量 mAh)



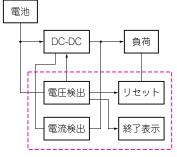


図1-3 電池用電源回路の基本ブロッ ク・ダイアグラム



♠ ② 入力6~35 V, 出力5 V/2 A の降圧 DC-DC コンバータの製作例

● 製作する降圧 DC-DC コンバータのスペック

図2-1は、高耐圧パワーMOS内蔵DC-DCコンバータIC BD9781(ローム)を使った降圧DC-DCコンバータ回路です(写真2-1). BD9781のピン配置を図2-2に、ピン機能を表2-1に示します.

この DC - DC コンバータの簡単な仕様を以下に示します.

 出力電圧
 5 V

 入力電圧範囲
 6~35 V

 出力電流
 0~1 A

BD9781の特徴は、外付け部品が少なく、入力電圧が広範囲 $(5\sim35\ V)$ 、入出力の電位差が少ない、スタンバイ時の消費電流がほぼゼロなどで、電池駆動の電源に適しています。

出力電圧5 V を補償する最小入力電圧は**表2-2**のとおりです。効率は、入力7 V/0.84 A で出力5 V/1 A なので、85%です(定数を検討すればもっと良くなる可能性はある)。

表2-2のように、電位差が少なく電池が消耗してきても使用範囲が広いニカドでは、 $1.1 \lor \times 6$ 本=

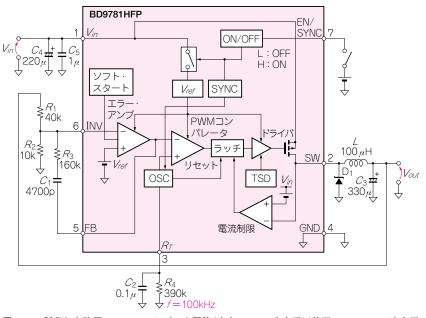


図 2 – 1 製作した降圧 DC – DC コンバータ回路 (出力: 5 V,入力電圧範囲: 6 \sim 35 V,出力電流: 0 \sim 2 A)

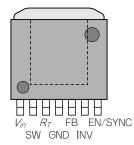


図2-2 高耐圧パワーMOS内 蔵 DC-DCコンバータIC BD9781のピン配置

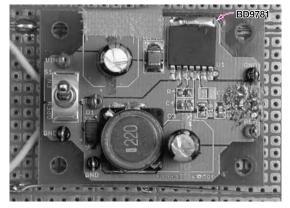


写真2-1製作した降圧DC-DCコンバータの外観

表2-1 BD9781 のピン機能

番号	端子名	機能	
1	Vin	電源入力端子	
2	SW	出力端子	
3	R_T	周波数設定抵抗接続端子	
4	GND	GND 端子	
5	FB	エラー・アンプ出力端子	
6	INV	出力電圧フィードバック端子	
7	EN/SYNC	イネーブル, 同期パルス入力端子	
フィン	-	GND 端子	

表2-2 出力電圧5Vを補 償する最小入力電圧

消費電流	入力電圧	電位差
0.05 A	5.06 V	0.06V
1 A	5.69 V	0.69 V
2 A	6.60 V	1.60 V